

第3回 カリキュラムワーキング部会 議事録

日時： 平成28年12月14日（水） 17:30～18:40

場所： 医学部長室

出席者： 秀部会長、栗井、石田、栗栖、酒井、坂口、廣瀬*、松下、道方* 各委員

欠席者： 越智、田中委員

陪席者： 玉田主査（学生支援グループ）

（* 第3回ワーキング部会の委員として学生会から指名された委員）

審議事項

1) 垂直的統合カリキュラム「EBM」の計画について

- ・ 松下委員より、垂直的統合カリキュラムとして、「EBM」に関して現在行われている教育内容をシラバスのかたちにもとめ、6年間を通じた到達目標を明確化することで、カリキュラムとして可視化する計画案について説明があり、これを基に審議を行った。

- ・ 審議の結果、

- ① 今回はまずはシラバスのかたちで現在の教育内容をまとめ、今後はその内容を踏まえて臨床実習等における指導を行っていただくよう各診療科に適宜要請をしていくこと
- ② 1年次の既存科目の中にEBMの概論を解説する講義を1コマ設けること（科目は今後検討するが、現在のところ「生命医療倫理学」が見込まれる）
- ③ 4年次の臨床実習入門プログラムの中に、ガイドラインの読み方や利用の仕方等のEBMに関して臨床で必要となる知識を中心に解説する講義を1コマ設けること

の3つを行うこととなった。

2) カリキュラム委員会の開催について

- ・ 松下委員より、平成29年度のカリキュラム委員会（通称総会）の開催計画に関し、時期、内容についての説明があった。
- ・ 審議の結果、内容は、1) カリキュラム全体にわたる点検、評価及びカリキュラム内容の改善に関する提言、2) 教育に必要な資源の活用及び配分に関する提言、3) 「使命と目標とする学習成果」改定に関する意見聴取と審議、の3つとし、日時は4月6日（木）18:00とした。

3) 3年生科目「医学英語」のあり方について

- ・ 秀部会長より「医学英語」の内容に関して発議があり、審議を行った。その結果、平成29年度の入学生から「医学英語」の単位数を現行の2単位から1単位に減じ、これに伴って1グループあたりの人数を20名から10名に減らしたうえで、英語によるプレゼンテーションと質疑応答を授業内容とする方針を定めた。今後は担当教員と協議のうえで具体的な計画を立案し、医学科会議に提案することとなった。